社会資本総合整備計画 事後評価シート

防災•安全整備計画

平成31年 3月

佐賀県 嬉野市

A1-16 道路 一般 嬉野市 直接 嬉野市

修繕 市道五代長谷線

24.0

658.7

小計(道路事業)

则火,	女土	並																	平成	31年3	月
計画の		9'			る新しい嬉			(・安全)													
計画の	7,7-1. *		平成24年	- 度 ~	平成28年	度 (5	年間)			交付対象		佐賀県嬉野市									
	「集約と 市の構築 ○集約型 ○佐賀県 ○将来子 ○地区拠	を目指す の都市構 南部の多 定されて 点を高め	ト。 青造の構築 を流拠点、 こいる九州 かる事で集	を、地域に 高度医療 新幹線西	コミュニテ 寮の中核都 5九州ルー	- イの維持 3市として -トの開通	手の視点の 、また安 値を起爆剤	が持つ各地域・拠点のもと、地域の個性で全な都市づくりと して、駅周辺の で活を支える基盤整	や魅力の して市内 社会基盤	創出に向けた拠点 外の道路・交通3 整備の推進や人に	点づくりを 環境の向上 こよる賑わ	目指す。 や人と人との交流 いの創出など、糸	充づくりな 迷続的なハ	ど、新し ード・ソ	い嬉野市 フトの取	の創出に 組の推進	向けた連携 によるもで	・交流基施なし基盤(盤の創出 の形成を	出を目指す	
計画	の成果目	標(定量	的指標)																		
	市民ア・市民ア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ンケート 処理人口 区、塩日 ンケート 寿命化値	調査により1普及率を3地区で活った調査により5繕計画に	る「道路 19.7% 動する る「暮り よる予り	格・交通環 (H22) か 「まちづく らしやすさ ち的保全を	環境の満足 ら22.0% り組織の の満足度 計画的に	!度」を2. (H28) へ)団体数 €」を3.00 二実施し、	28) 〜増加 .89ポイント(H21) ⁻ 増加 (新規)」を0団体 0ポイント(H21) 安全性が確保され Eし、保全した市道	(H22) か から3.11ポ た橋梁数	ら3団体(H28) ポイント(H28) (補修対策済)の	〜増加 〜増加 ○修繕計画				H24) カッパ	5100.0%	(H28) 〜埠	勃加			
定量	的指標の	定義及び	算定式											定量的	指標の瑪	況値及び	目標値			備者	
					_									見況値		目標値	最終目標			湘与	
	設」の利	用者数					2 / 1	歴史文化交流拠点	. ,		会館」)に	ある「交流施	(H22	当初) 人	(H2 50, 000	<u>6末)</u> 人	(H28末 45, 000	人			
	本市が実	施してい	いる市民ア	ンケート	ト調査によ	る「道路	・交通環	環境」に対する満足	と 皮評価指	数			2.89	ポイント	2.97	ポイント	3.06 ポ	イント			
								口(人))	A.I.I.				19. 7	%	22. 0	%	22.0 %)			
	数							த野市の新たな賑わ			「まちづく	り組織」の団体	0	団体	団体 2 団体		3 団	体			
					ト調査によ なに対する				評価指数				3.00 ポイント 3.05 ポ		ポイント	3.11 ポ	イント				
								系梁数)×100					0 %		63.6 %		100.0 %	,			
					R全実施延 全対策路線		100						0	%	47. 5	0/2	92.1 %				
至			合	計 + C+D)		百万円	А	658.7百万円	В	0百万円	С	3.0百万円	D		万円	効果促	進事業費の	割合		0.4%	
			(11 + D	(CID)												C/ (A + B + C +	D)			
0 + // ==	m /	=== (mt) ==	challe () a their	eta lda rd	i. Hen				事	後評価(中	1 間 評	価)									
○事後評事後評価			実施体制	、美施時	F期						古沙亚口	i (中間評価) の	2-16: 01: 10								
学 板計៕	(中间計	畑) り天	池平市		_						学 後計៕	1 (中国評価) の	夫肔时期								
											公表の方	法									
1 交付	対象事業	の准捗状	· 沪.																		
交付対象		·-~																			
	净事業(ji																				
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接間接	事業者	道路 種別	省略 工種	(となる事 (事業箇所		(延	事業内容 長・面積等)		村名	H24	事業実 H25	施期間(年 H26		H28	全体事業費 (百万円)	備考
A1-9	橋梁	一般	嬉野市	直接	嬉野市	市道	修繕	橋梁補修整備事業	É		橋梁補修	L=0.24km(11橋)								300.0	
A1-5	道路	一般	嬉野市	直接	嬉野市	市道	修繕	市道諸津線			L = 240r		嬉野市							89. 6	
A1-6	道路	一般	嬉野市	直接	嬉野市	市道	修繕	市道今寺落合線	5		L = 180r		嬉野市						\longrightarrow	64. 9	
A1-10	道路	一般	嬉野市	直接	嬉野市	市道	修繕	市道万才堤ノ上線			L=85m		嬉野市						\longrightarrow	62. 6	
A1-11	道路	一般	嬉野市	直接	嬉野市	市道	交安	市道北下久間塩吹	(禄		L=40m		嬉野市							26. 6	
A1-12	道路道路	一般	嬉野市 嬉野市	直接直接	嬉野市 嬉野市	市道	修繕	橋梁定期点検 道路防災調査			橋梁定期道路防災		嬉野市 嬉野市						#	85. 0 2. 0	
A1-13 A1-14	道路	一般	嬉野市	直接	嬉野市	市道	修繕	追路防災調査 道路附属物調査			道路附属	., .	嬉野市			1				2. 0	
A1-14 A1-15	道路	一般	嬉野市	直接	嬉野市	市道	修繕	路面性状調査			路面性状		嬉野市						_	2. 0	
M1 10	是四	州人	相利山	匹灰	を行りし	11170	19年間	哈田性 不調 			四四二二八八	HM 프	/급기 미							2.0	

L = 83 m

嬉野市

.2 基章	1 7 7 12	下水道)															
番号	事業	地域	交付	直接	事業者	港湾	省略	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備者
(4) 種別 種別 対象 間接 ^{(4) 乗来名} 種別 工種 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)			(事業個所)		H24	H25	H26	H27 H28		(日万円)	+						
														262			
												小哥	十(下水	直)			4
													合計				
関連	社会資本			-tr-t-tr		- A	m/z	要素となる事業名	事 类由应			市光生	46: 10 88	(左帝)		全体事業費	備
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接間接	事業者	省工	暗	安糸となる事業名(事業個所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	H24	事業実施期間(年度) H24 H25 H26 H27 H28					
	性力リ	性力リ	刈家	町仮			.1里	(事未順別)	(延文・国債寺)		П24	п2ә	П20	П21	П20	(百万円)	+-
													L				₩
	促准事業												合計				Щ
//4/1-	促進事業 事業	地域	交付	直接	1	省	四々	要素となる事業名	事業内容		1	市光生	16: 10 88	(左座)		A 21	ſi
番号	争来 種別	種別	対象	担接 間接	事業者		m 種	安然となる事業石 (事業個所)	(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度) H24 H25 H26 H27 H				H28	全体事業費 (百万円)	ν
1-5	道路	一般	対象 嬉野市	直接	嬉野市		.1里	橋梁定期点検	(延長・ <u>国</u> 損寺) 250橋	嬉野市	П24	п2ә	П20	П21	П20	0.0	+
1-6	道路	一般	嬉野市	直接	嬉野市			道路防災調査	道路防災調査 (法面・盛土・擁壁等)	嬉野市						1.0	+
1-7	道路	一般	嬉野市	直接	嬉野市			道路付属物調査	道路付属物調査 (標識・照明施設等)	嬉野市						1.0	+
21-8	道路	一般	嬉野市	直接	嬉野市			路面性状調査	L=60km	嬉野市						1.0	+
1-0	坦昭	州又	始到 III	旦1女	婚到 川				L-00Kiii	始到川						1.0	+
						l .						l .	合計			3. 0	+
													ЦП			0.0	Η.
≨号		,		. ,,.,.	れる効果												仴
1-5								画に基づき橋梁定期点検を行う。									+
1-6								調査を行う。									4
1-7								・照明施設等)を行う。									+-
1-8	等計画の	効果を向	上させるこ	とを目的	として、舗	装の路面	性状調査	を行う。									4
	V- 1 -12 - 111		March 111.	VIII.													┸
,	, , ,		籍整備事		1	省	四々	要素となる事業名	市 华 山 应		1	市光生	施期間	(年度)		A 21	fi
号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接間接	事業者		種	安然とはる事業石 (事業個所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	H24	尹未夫 H25	H26	H27	H28	全体事業費 (百万円)	1
	1里力1	1里力1	A1] 39K	印汉			·1±	(事未间//)	(延及・固慎寺)		1124	1120	1120	1121	1120		+
												<u> </u>	A ∌I	<u> </u>	<u> </u>		+
													合計				<u> </u>
} 号	一体的に	実施する	ことによ	り期待さ	れる効果			<u> </u>									Ü

2. 事業効果の発現状況、目標値	直の達成状況								
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現]状況	・老朽化の進む橋梁の長寿命化修繕により、住民や観光客の通行の安全性が向上した。 ・市道の法面保全を行うことにより、防災対策が向上し、住民や観光客の通行の安全性が向上した。							
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①温泉文化 交流拠点(嬉野 地区:「セン 化交流セン ター」)、歴史 文化交流拠点	最終目標値	45,000 人/年	目標値と実績値	社会文化会館(リバティ)における市民の多様な活動や様々なにぎわいが生まれる拠点の創出が進んだ。				
	大化交流機点 (塩田地区: 「社会文化会 館」)にある 「交流施設」の 利用者数	最終実績値	48,617 人/年	に差が出た要因	た、うれしの茶観光交流館(チャオシル)が活用され、観光拠点としての機能が発揮された。				
	指標②本市が実 施している市民 アンケート調査 による「道路・	最終目標値	3.06 ポイント	目標値と実績値	各種道路事業の実施により、拠点地区へのアクセス性の改善、狭隘道路や老朽化した道路の改良が進み、車等の円滑な交通環境が確保されている。しかし、改善要望のある路線数に対する整備は、部分的なものであ				
	で通環境」に対 する満足度評価 指数	最終実績値	2.87 ポイント	に差が出た要因	等の口間な文地深現が作体でれている。 しかし、以音安全のある時候数に対する空間は、即方的なものでることから、目標とする満足度には至っていないと考えられる。				
	指標③下水道処 理人口普及率 (下水道を利用 できる人口	最終目標値	22.0 %	目標値と実績値	各種下水道事業の実施により下水道処理人口普及率が着実に増加した結果、目標値を上回った。				
	(人) /総人口 (人))	最終実績値	23.4 %	に差が出た要因					
	指標④空き店舗 対策、景観ガイ ドラインをはじ め、本計画の推 進や嬉野市の新	最終目標値	3 団体	目標値と実績値	住民・関係者との協働によるまちづくりが進み、組織立ち上げの機運が高まり、まちづくり組織が結成され				
	たな賑わい創出 に向けて活動す る「まちづくり 組織」の団体数	最終実績値	3 団体	に差が出た要因	た。その結果、目標を達成した。				
	指標⑤本市が実 施している市民 アンケート調査 による「暮らし	最終目標値	3.11 ポイント	目標値と実績値	身近な公園の整備、各地域の拠点施設の整備、拠点を結ぶ道路整備、下水道の整備等により、暮らしやすさに関する満足度が一定程度維持されているが、目標とする満足度には至っていないと考えられる。				
	やすさ」に対する満足度評価指数	最終実績値	2.99 ポイント	に差が出た要因	なお、社会資本総合整備において、各種整備を進めているが、短期での目標の達成見込みは困難と考える。				

Ⅱ定量的指標の達成状況	する修繕実施済 橋梁数(修繕実 施橋梁数(橋) /橋梁長寿命化	最終目標値	100 %	目標値と実績値
		最終実績値	100 %	に差が出た要因
	指標⑦橋法面保 全路線の対策延 長に対する保全 実施延長(保全		92.1 %	目標値と実績値 法面保全対策路線延長550mに対して橋法面保全路線の対策延長に対する保全実施延長(保全実施延長(法
	実施延長(法 面)/法面保全 対策路線延長) ×100	最終実績値	100 %	に差が出た要因 面)550mであり、目標値を超えて法面保全対策が進んだ。

Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述) ・橋梁点検や道路防災点検を行うことで、橋梁や道路の老朽化の状況を把握することができた。

3. 特記事項(今後の方針等)

- ・並行して実施されている社会資本総合整備計画や都市再生整備計画による整備を進め、生活を支える基盤整備や防災環境を形成することで、市民の道路・交通環境や暮らしやすさの満足度を向上させる。 ・温泉文化交流拠点(嬉野地区:「観光文化交流センター」)や、歴史文化交流拠点(塩田地区:「社会文化会館」)の利用促進を進め、「交流施設」の利用者数を増加させる。

- ・ 下水道の整備を進め、下水道処理人口普及率の向上に努める。 ・ 嬉野市の新たな賑わい創出に向けて活動する「まちづくり組織」を発展させる。

(参考様式3) (参考図面) 市街地整備

